

お知らせ

INFORMATION

No.2018-15
2018年5月
病体生理研究所

検査内容の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記項目におきまして、検査内容の変更をさせていただきます。

何卒、ご了解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【検査内容が変更となる項目】

- ◆ ビタミン E [11551] …検査案内掲載 P.14 検査実施施設 (常磐特殊分析センター)
- ◆ ソマトメジン C [12191] …検査案内掲載 P.29 検査実施施設 (S)
- ◆ シュウ酸 (蓄尿) [11291] …検査案内未掲載 検査実施施設 (S)

※裏面をご参照下さい。

《変更日》 2018年6月4日(月)受付分より

以上

【検査内容の変更について】

検査項目 〔コード〕 案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
ビタミンE 〔11551〕 P.14 常磐特殊分析センター	保存方法	遮光絶凍	遮光冷蔵	保存方法見直しのため 基準値その他の変更 はありません。
	容器	No.1→No.7	No.1→No.5	
ソマトメジンC (IGF・I) 〔12191〕 P.29 S	保存方法 (安定性)	絶凍 (21日)	冷蔵 (21日)	
	容器	No.1→No.7	No.1→No.5	

検査項目 〔コード〕 案内掲載頁 検査実施施設	変更箇所	新	従来	備考
シュウ酸 (蓄尿) 〔11291〕 未掲載 S	基準値	M : 10.3~41.5 F : 9.0~37.7 mg/day	M : 10~42 F : 9~38 mg/day	2018年4月より保険 点数が収載されまし た。 基準値の見直しのた め、小数点1位まで のご報告に変更いた します。
	実施料 判断区分	200点 (D001 17) 尿・便	未収載	

【項目情報】

項目名称	シュウ酸 (蓄尿)
コード	11291
検体材料	酸性蓄尿 3mL
保存(安定性)	冷蔵 (21日)
採取容器	No.8 尿検査用容器
検査方法	キャピラリー電気泳動法
所要日数	4~11日
備考	6N塩酸 10mLを入れた蓄尿ビンへ24時間蓄尿し、よく混和後 必要量を提出下さい。尿量があらかじめ少ないと予想される場合 には、尿 200 mL に対して 6N塩酸 1mL の割合で添加して下さ い。酸性蓄尿していない場合は、シュウ酸カルシウムが析出する 可能性がありますので、必ず酸性蓄尿(pH1.0~2.0)して下さい。 凍結保存は避けて下さい。
【臨床意義】シュウ酸は尿路結石の約8割を占めるシュウ酸カルシウムを含む結石成因子物質の一つである。結石形成過程において尿中シュウ酸の増加が大きな影響を及ぼしている事が知られており、特に再発性・多発性結石の予防および病因究明において有用である。	